

岩手医療マネジメント学会 in 盛岡

6月14日(金)～15日(土)岩手県盛岡市岩手市民文化ホールにて、第15回日本医療マネジメント学会学術総会が開催されました。看護部から入退院支援センター 風呂直子さん、5階西病棟 野上京子さんが、下記演題にて発表を行い、風呂さんが座長賞を頂きました。おめでとうございます。この経験を今後の看護業務に活かしてくれることを期待しています。



【入退院支援センター開設後院内周知への取り組み
～職員・地域・患者満足を目指して～】
演者：入退院支援センター 風呂直子

【術前の口腔ケア指導に対するスタッフ
の意識改革】
演者：5階西病棟 野上京子

入退院支援センター
風呂さん



5階西病棟 野上さんと小坂師長

6月14、15日 第15回日本医療マネジメント学会学術総会に出席させて頂き、『入退院支援～職員満足・地域満足・患者満足を目指して～』をテーマに、この1年間の院内周知、退院支援への取り組みを発表させて頂きました。
センター業務は院内スタッフの協力なしにはスムーズに進まない事を痛感しています。今回の取り組みを基に、更に連携を強化し皆様の期待にも応えられるよう、業務を進めていきたいと思っております。このような貴重な学会に出席させて頂き、また「座長賞」という名誉ある賞を頂き、スタッフ一同、大変光栄に思っています。ありがとうございます。
入退院支援センター 風呂 直子

【今月のTOPICS】

「たぶん大丈夫だろう」と対したところのちのち重大事になる場合も!

エキスパートナース
Expert Nurse 6月号
2013年

こんなにコワイ! リスク場面
事故につながる!
その「油断」

いざというとき、とまどわない!
ストーマの緊急造設

「エキスパートナース6月号」WOC認定看護師 山本千春さんの記事が掲載されました!

緊急時のストーマサイトマーキング
“これだけは知っておきたい”コツ

病員の寝るが困難な位置にストーマを造設すると、排泄物が濡れる原因となります。病員の寝るのQOLを左右するため、緊急時でも適切なマーキングを行います。



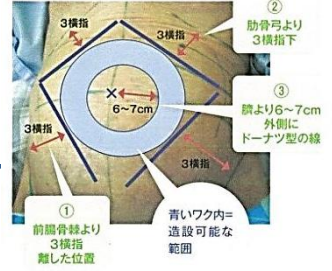
【ストーマサイトマーキングがなぜ必要なの?】

①ストーマサイトマーキングを適切に実施し、造設した場合

②理想的な位置にストーマが造設されなかった場合

③緊急時にストーマを造設

知識を持って、あなたが防止しよう!



いざというとき、とまどわない! ストーマの緊急造設

- p.72 緊急時のストーマサイトマーキング “これだけは知っておきたい”コツ 山本千春
- p.78 “あなた”が知っておきたいストーマ早期併症とその対応 小林智美
- p.84 早期合併症発生時に迷わないストーマ用品の選択と工夫 松村佳世子
- p.90 ストーマについて知っておきたいトピックス ●人工肛門・人工新直腸造設術術後ケアについて ●新しいストーマケア用品 ●ストーマ器具交換が医師から外れたことについて 小林智美

全6ページで写真やイラストを交え、分かりやすくストーマサイトマーキングについて掲載しています。
6階西病棟に置いてありますので是非、皆さん参考にご覧下さい。

山本千春
財団法人津山慈風会
津山中央病院
看護統括部 主任リーダー
(皮膚・排泄ケア認定看護師)

やまもと・ちはる : 1994年津山中央病院就職、外科・脳外科病棟。2008年皮膚排泄ケア認定看護師認定。外科、形成外科、泌尿器科病棟兼務を経て、2012年より褥瘡管理者として勤務。

6月21日(金)～22日(土)新採用者(63名参加) 3ヶ月目研修をエクスプ鳴門で実施しました。



【参加者の声】

この2日間を通して、この研修の目的であったリフレッシュと同期の看護師・コメディカルとの繋がりを広げるという目的は達成できたと思います。今まで知らなかったコメディカルの人達と友達になる事で、困ったときは相談しそれぞれの得意分野を活かせるきっかけとなったのではないかと思います。この研修をきっかけに、これからも同期との繋がりは大切にしていきたいと思います。
N1病棟 平田千尋

【参加者の声】

今回、企画・準備して下さった居森部長さんをはじめとする上司の方々、あまり話した事なかった同期の人達、そんな新しい人と一緒にご飯を食べ、笑って騒いで元気をもらいました。しんどいのは自分だけでなく、共に頑張っている仲間がこんなにもたくさんいて、こんなにもたくさんの人たちが私たちを応援してくださっているのだと思うと、改めて頑張ろうと強く思うことができました。

研修の話にもあったように同じ釜の飯を食べることはこういうことなのだ、分かったような気がします。そんな仲間と一緒に、一生懸命頑張っって画用紙に書いたような、今の自分の目標に向かって、日々勉強していきたいと思えます。救命救急センター 村田未佳



【引率者の声】

新人宿泊研修が始まり4年を迎えますが、今回始めて引率として参加させて頂きました。2日間を共に過ごした中で、最初の緊張した表情も時間が経つにつれ雰囲気と和らいでくると感じることができました。看護部だけではなく他職種の人達と共に時間を共有することで、横の繋がりができ、皆がアイデアを出し合いながら一つの目標に向かってチームで取り組むことの大切さを経験できたことは有意義で、今後のチーム医療の育成に繋がるものであると感じました。何事にも一生懸命な姿勢と、笑顔が明るく元気で弾けるように、サポートしていきたいと思えます。
3階西病棟 師長 坂手佐千子

新採用者3ヶ月目研修



オムツマイスター会議

4月25日(木)に開催されたオムツマイスター会議で、下記内容について討議されました。今度、花王さんも臨床に参加しながら指導を継続して下さいので、各部署困っている症例がありましたらご意見下さい。

1. 交換回数について：4～5回、6回が平均的だが7回や9～10回の部署もある。
2. 尿漏れについて
 - ①男性患者の尿が多く7号でガードしてもパジャマまで尿汚染されることがある。
 - ②関節の拘縮があるのでパットの隙間から漏れる。
 - ③尿を溜めてから排尿する人は1回量が多く号数の大きいパットを使用しても側臥位になっている時などは尿漏れすることがある。

【花王からの助言】

あて方の工夫や、号数の適切な選択は必要だが、まず、安心シートを試してみよう。安心シートを早急にサンプルとして使用できるよう調整したい。

3. 肌トラブルについて

- ①時々真菌が発生する。
- ②かぶれあり、亜鉛華軟膏塗布している。
- ③軟便頻回で排泄のかぶれがある。
- ④排便の多い人で下痢の人は発赤がでたりする。

【花王からの助言】

便が皮膚に直接付着しないような工夫が必要。サニーナなどを使って、優しく便を拭き取るとよい。石鹸をつけてゴシゴシ洗淨することは良くない。WOC大塚さんより他社ではあるが、皮膚に便がつかないような塗布剤は助言はしている。

エキスパート
ナース研修開始

7月16日(月)から各エキスパートナース研修が始まります。本年度は83名が受講予定ですが、欠席なく全課程を修了した場合下記、受講証明書を教育委員会より発行しています。受講生の皆さん、看護のレベルアップを目指して頑張ってください。



【エキスパートナース
研修内容】

- ◆ 皮膚・創傷ケア
- ◆ 化学療法
- ◆ 呼吸管理
- ◆ 看護研究
- ◆ 心電図
- ◆ 看護診断
- ◆ NST
- ◆ 人間関係論
- ◆ 緩和ケア